

令和6年度南三陸町議会9月会議 一般質問通告書

通告1番 佐藤 雄一 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 し尿汲み取りについて

質問の相手 町長

質問の要旨 コロナウイルス感染症等以来、物価高騰、その他もろもろの物価上昇で委託業者が大変厳しい経営に追い込まれていると聞いている。震災後は住宅再建でほとんどに浄化槽が整備され、利用者も激減している状況を踏まえ経営が難しくなっていることから、次の点を伺う。

- 1 現在の料金体系の根拠は。
- 2 汲み取り料金の改定の考えは。
- 3 将来委託業者ができなくなった場合の町の考えは。

2件目

質問事項 旧入谷公民館（林業村落センター）の今後の取り扱いは

質問の相手 町長

質問の要旨 林業村落振興緊急対策事業で昭和54年度施工された多目的集会施設（林業村落センター）が使用されなくなって4年が経過したが、その後の対応が見えてこない。

築45年経過のこの建築物を再利用するのか、解体をするのか、解体をするとなればその計画があるのか伺う。

3件目

質問事項 公民館に自販機の設置計画は

質問の相手 教育長

質問の要旨 地域住民はもとより公民館を利用される方々、体験学習に来られた学生などが自販機を探して公民館に立ち寄るという話をよく耳にすることが多い、そこで自販機の設置計画はできないかを伺う。

通告2番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 人口減における持続地帯としての産業振興施策を伺う

質問の相手 町長

質問の要旨 近年の増加する自然災害の発生状況と社会変化から想定される当町の環境評価と持続する産業振興施策のあり方につき以下の点を伺う。

- 1 近年多発している自然災害等から見た当町の住環境への客観的評価について

- 2 県公表の地域別労働実態調査で見る気仙沼地方振興事務所管内の男女間賃金格差と当町の実相について
- 3 女性定住の一条件となる雇用促進と女性向けの起業支援への取り組みについて

2 件目

質問事項 相続登記義務化の現況について伺う

質問の相手 町長

質問の要旨 相続登記が義務化され半年が経過したが当町における現況とその課題につき、以下の点を伺う。

- 1 当町の相続未登記状況と派生する諸問題について
- 2 法務局との相続登記説明会等の考えについて
- 3 相続登記にかかる今後の取り組みについて

通告 3 番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

質問事項 有害鳥獣から町民を守るための対策は

質問の相手 町長

質問の要旨 近年、有害鳥獣による農作物への被害が相次いでいる。全面的な対策は難しく、対症療法的にならざるを得ないが、どのように対応しているのか。また、クマに関しては人や住居への被害も懸念される。環境省は4月、四国以外のクマを指定管理鳥獣に指定したが、どんな対策を考えているか。

- 1 把握している鳥獣害の状況は。
- 2 農作物被害への対策は。
- 3 クマの目撃情報が急増し、不安に思う町民も多いが、状況と対策は。

通告 4 番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 心豊かな人と文化を育むまちづくりの現状と課題について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 第3次総合計画の24ある施策の中に、文化の継承と創造とあり、さらに芸術、文化活動の推進とある。目標として、町民自らの芸術文化活動や優れた芸術、伝統文化に触れる機会を充実させるとうたっている施策について伺う。

- 1 芸術文化活動の推進における現状と課題。(質問相手：教育長)
- 2 ふるさと納税を活用して芸術文化活動を推進する考えはないか。(質問相手：町長)
- 3 経済対策への予算措置も大切だが、お金にならない長期的な人づくり(文化、芸術)のための今後の予算投入の必要性について伺う。(質問相手：町長、教育長)

2 件目

質問事項 協働のまちづくりの推進、現状について

質問の相手 町長

質問の要旨 1 コミュニティ醸成につながる協働のまちづくりの現状、課題について  
2 町民で構成される団体、グループ等への業務委託制度の導入について、観光に力を入れている我が町において、特に景観の環境美化への取り組み、全国各地ですでに取り組んでいる草刈りサポーター制度等の検討について伺う。

通告 5 番 菅原 辰雄 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 猛暑による一次産業や住民生活への影響と対応について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 国では平成 22 年から地球温暖化対策として様々な取り組みを行ってきたが、特にここ 2～3 年気温が上昇し続け、特に夏場の気温上昇が著しく、町内でも基幹産業である一次産業や住民生活などへの影響が懸念されるが、町では現状をどう捉えどう対応していくのか次の点を伺う。

- 1 農産物・水産物などへの影響と対応策について（町長）
- 2 住民生活などへの影響と対応策について（町長）
- 3 教育現場への影響と対応策について（教育長）

2 件目

質問事項 町職員育成の現状と課題について

質問の相手 町長

質問の要旨 町の第 3 次総合計画に基づく財政運営に関し、職員の人材育成について現状と課題を伺う。

- 1 人事評価制度について
- 2 専門的能力を有する職員の育成について
- 3 持続可能な組織・執行体制の構築について

通告 6 番 佐藤 正明 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 農業における耕作支援と農地活用の対策について

質問の相手 町長

質問の要旨 近年、農作物の耕作では害虫・害獣被害が増加傾向にあり、また、遊休農地の維持管理等が非常に厳しい中、農家は様々な被害の防除対策や農地の維持管理に努めている現状にある。

今後の農業経営の継続や農地の維持管理は非常に厳しく、先行きが見えない状況にあることから、次の点について考えを伺う。

- 1 主食である水稲栽培は、害虫・害獣被害が増加している。  
防除対策に対する支援の考えはないか。
- 2 中山間地域等直接支払制度は、農地を維持していく上で重要な事業である。今年度で第5期対策は終了となるが、第6期対策として継続となる場合には、町独自の制度として支援策を考えては。
- 3 農業振興区域の遊休農地が、年々増加傾向にある。  
農業振興区域を適正に継続していく考えについて伺う。

## 2 件目

質問事項 土砂災害警戒区域における災害対策について

質問の相手 町長

質問の要旨 近年の異常気候の影響で、各地区では豪雨等により土砂災害や河川災害が多発している状況である。

土砂災害警戒区域内や河川付近では多くの町民が生活していることから、安全に生活できるよう次の点について伺う。

- 1 町内では、土砂災害警戒区域等が多数指定されている。  
国の方針では、防災・減災に対する国土強靱化計画を策定しているが、町の防災・減災対策の方向性について伺う。
- 2 町内の土砂災害警戒区域において砂防堰堤の整備工事が着手された箇所がある。そうした箇所の下流域に対する町の治水対策の考えは。
- 3 5年前の台風19号や豪雨災害などで被災した箇所の復旧工事は完了したと思われる。

今後は、河川の維持管理や安全確保のための昇降施設等を各所に整備する必要があると思うが、町の考えは。

通告7番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

質問事項 住民ファーストの防災施策と地域づくりについて

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 災間を生きるわたしたちにとって「防災」への取り組みは安心安全なまちづくりの礎であり、日々の積み重ねが大切であると考えます。

現状は、人口減少、高齢化などの要因だけでなく震災の記憶の風化も含め、防災意識の向上、地域での支え合いなど、日々の積み重ね、取り組みが難しくなっていく状況にある。それぞれの地域特性に合わせた自主防災組織のあり方、消防団員のなり手の確保、次世代だけでなく高齢者への防災教育環境を整備していく必要性の含め、地域力の維持や底上げについて5年先、10年先も見据えた取り組みを進めていくべきと感じるところであり、以下について考えを伺う。

- 1 南三陸町地域防災計画について新たな更新状況は。

- 2 地域力の底上げに繋がる自主防災組織のあり方について  
(質問相手：町長)
- 3 指定避難所は人権に配慮された環境整備がなされているか。  
(質問相手：町長)
- 4 消防団の組織体制強化について今後の考えは。(質問相手：町長)
- 5 次世代への防災教育と共に高齢者への防災教育も含め環境整備の考えは。  
(質問相手：町長、教育長)

通告 8 番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

質問事項 子供の「SOS」に気付いてほしい

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 仙台法務局・県人権擁護委員連合会が8月21日から27日までの「こどもの人権相談強化週間」中、時間を延長して電話とラインで相談を受け付ける。いじめや体罰、児童虐待など子供に関する様々な問題に人権擁護委員が相談に応じると報道があった。

当町でもこれらの相談受付など対応したと思うが、社会問題となっている下記のことについて伺う。

- 1 身体的虐待・ネグレクト・性的虐待・心理的虐待など県内児童相談所速報値2,065件で1,764件の増となり、全国でも21万9,170件と過去最多となっているが、当町の状況と対応は。
- 2 近年ネットによるいじめが社会問題になり、自ら命を絶つ事件も全国で発生しているので見過ごすことが出来ない。児童虐待も周囲が気付きにくいので、「こどものSOS」を早くキャッチして周囲に相談する事が重要と思うが実態把握を伺う。